

交通ちば



VOL. 404 平成24年1月1日

千葉県交通安全活動推進センター
(財)千葉県交通安全協会連合会



「交通安全県ちば」の確立を目指して

財団法人 千葉県交通安全協会連合会

会長 吉成 儀

明けましておめでとうございます。

平成24年の新春を壽ぎ謹んでお慶び申し上げます。

皆様方には、平素から地域における交通安全活動に深い御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、3月11日発生した東日本大震災が本県にも甚大な被害をもたらし、多くの方が被災されました。

被災者の皆様には、この苦難を乗り越えて、一日も早く元の姿を取り戻され、力強く復興されますようお願いして止みません。

さて、このような厳しい情勢下において、県、警察を始め、関係機関・団体と連携し、「みんなで作ろう交通安全県ちば」をスローガンに、四季の交通安全運動はもとより、年間を通じ街頭指導や保護誘導活動及び広報啓発活動の各種交通事故防止活動を推進しました。

特に、連合会としましては、県下44地区の交通安全協会と連携して、各世代を対象にした交通安全教室の開催、「自転車事故を無くすために」と題する手記の発行及び自転車安全利用五則の呼び掛け、飲酒運転根絶に向けてのハンドルキーパー運動など交通安全意識の普及高揚に努めました。

これらの交通事故防止活動を推進した結果、本県の交通事故死者数は12年連続して減少し、まさに、第9次千葉県

交通安全計画の初年を飾るにふさわしい実績を上げ、「交通安全県ちば」の確立に向け着実に歩んでいます。

しかしながら、175人の方が尊い命を失い、依然として交通事故多発県であることに変わりありません。

連合会としましては、本年も、県、警察を始めとする関係機関の御指導を仰ぎながら、地域に密着した交通安全活動を推進するとともに、県民一人一人に対し交通ルールの遵守と交通マナーの向上を呼び掛け、13年連続交通事故死者数の減少と本年設定された交通事故抑止目標（平成24年は170人以下）を達成させるため、邁進してまいります。たいと決意も新たにしておりますので、交通事故防止活動に一層の御協力をお願い申し上げます。

結びに、本年も当連合会並びに各地区交通安全協会の活動に対する御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。と御多幸をお祈り申し上げます、新年の御挨拶いたします。





「安全・安心日本一の千葉県」の実現を目指して

千葉県知事 森田 健作

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

千葉県交通安全協会連合会並びに各地区交通安全協会の皆様には、日ごろから交通事故防止に向け、地域に密着した各種の交通安全活動に御尽力いただくとともに、県政各般にわたり、深い御理解と多大な御支援をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の交通事故による死者数は、175人であり、目標でありました「交通事故死者数12年連続減少・アンダー180」を達成するという大きな成果を上げることができました。これも皆様方をはじめとする、関係各位の御尽力の賜物と改めて感謝する次第です。

しかしながら、未だに多くの尊い命が交通事故により奪われており、本県は交通死亡事故多発県である状況に変わりはありません。

特に、交通事故死者数の約4割を65歳以上の高齢者が占めているほか、依然として飲酒運転等の悪質違反に起因する交通事故によって、多くの尊い命が犠牲になっています。残された御家族の方々の心中を察しますと、大変心が痛み、交通事故は絶対にあってはならないとの思いを新たにしています。

痛ましい交通事故の犠牲者やこれによって生じる悲劇を1人でも、1件でも減

らし、交通事故のない、安全で安心して暮らせる千葉県を実現するためには、皆様方交通安全推進関係機関・団体等と、県、警察がチームスピリットを発揮して、交通事故情勢に応じた効果的な施策を進めていくことが必要です。

県では、昨年策定しました「第9次千葉県交通安全計画」に基づき、四季の交通安全運動をはじめ、シートベルトの着用推進、自転車安全利用等の広報啓発活動や、幼児から高齢者まで、年代に応じた実践的な交通安全対策を積極的に推進してまいります。

皆様におかれましても、歩行者、自転車利用者、二輪車及び自動車の運転者等、交通手段に応じた交通安全教育や街頭活動、高齢者宅訪問活動等の機会における広報啓発活動など、引き続き、地域に密着した交通安全活動に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、財団法人千葉県交通安全協会連合会並びに各地区交通安全協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸をお祈り申し上げます、新年のあいさつとさせていただきます。



「安全で安心できる交通社会の確立」に向けて

千葉県警察本部長 鎌田 聡

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

千葉県交通安全協会連合会並びに各地区交通安全協会の皆様方におかれましては、平素より各地域における交通安全活動の中核として、幼児から高齢者まで幅

広い方々に対する交通安全教育や街頭における安全指導、保護・誘導活動など、地域の交通安全に多大なるご尽力をいただくとともに、警察業務各般にわたり深いご理解とご協力をいただき、誌上をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

平成23年中の 千葉県の交通事故死者数 **175人** (前年比-9人) 12年連続減少するも、 高齢者の死者が約4割を占める

平成23年中の県内の交通事故死者数は175人で、12年連続して減少させ、設定していた抑止目標180人以下を達成することができました。しかし、65歳以上の高齢者の死者が約4割を占めるほか、飲酒運転に起因する死亡事故が増加しています。本年設定された交通死亡事故抑止目標（170人以下）を達成させるため、皆様の一層のご協力をお願いします。

(*速報値ですので、修正されることがあります)

発生状況

区 分	累 計	前 年 比
発生件数	23,400件	- 2,514件
死亡事故件数	171件	- 8件
死者数	175人	- 9人
負傷者数	28,860人	- 3,336人

(人)

死者の状況別

	区 分	累 計	前年比
歩行者	子 供	3	+ 2
	高 齢 者	45	- 9
	そ の 他	26	+ 1
自転車	子 供	2	+ 1
	高 齢 者	10	- 10
	そ の 他	10	+ 2
二輪車	若 者	7	± 0
	高 齢 者	4	- 4
	そ の 他	20	+ 5
四輪車	若 者	13	- 1
	高 齢 者	11	+ 3
	そ の 他	23	± 0
そ の 他		1	+ 1

(人)

死者の多い都道府県

順位	区 分	累 計	前年比
1	愛 知	225	+ 28
2	東 京	215	± 0
3	埼 玉	207	+ 9
4	兵 庫	198	+ 6
5	大 阪	197	- 4
6	北 海 道	190	- 25
7	神 奈 川	180	- 2
8	千 葉	175	- 9
9	茨 城	169	- 36
10	静 岡	164	- 1

さて、昨年の千葉県の交通死亡事故につきましては、目標としておりました交通死亡事故死者数12年連続減少・アンダー180を達成するとともに、交通事故全体の発生件数につきましても大きく減少いたしました。このような成果を収めることができたのも、貴協会並びに地区協会を始めとする関係機関・団体の皆様方のご尽力の賜であり、改めまして感謝申し上げます。しかしながら、昨年中は交通事故により175人の方がお亡くなりになっており、私共はこれを重く受け止め、今後も交通事故を1件でも減少させていくための努力を続けていかなければなりません。

昨年の交通死亡事故の特徴としては交差点での発生が多く、その原因となる違反は信号無視、横断歩行者妨害、優先通行妨害などでありました。また、増加傾向にあった高齢者の方々の交通事故被害を防止するため年初より各種対策を推進した結果、一定の成果を上げることができました。しかしながら今後、いわゆる団塊の世代の方が高齢者の年齢に達するなど一層の高齢化が進展することから、引き続き高齢者の事故実態を踏まえた各種対策を推進していく必要があります。

なお、昨年策定されました第9次千葉県交通安全計画では、県の目標として、

交通事故死者数を平成27年度までに150人以下にすることとしています。県警といたしましても交通事故死者数の減少傾向を更に定着させるため、本年も「交通死亡事故抑止」を重点目標に掲げ、「交通事故死者数13年連続減少・アンダー170」達成のために各種施策を強力に推進して参る所存であります。そして、本年は自転車利用者に対してルールとマナーを遵守・実践させるための取り組みも強化することとしており、自転車は「車両である」ということを自転車利用者のみならず、自動車等の運転者を始め、交通社会を構成する全ての方々に徹底して参ります。

このような中、貴協会の開催することも自転車大会、高齢者自転車大会などを通じた自転車安全利用に関する取り組みや、各地区安全協会の皆様方の地域社会に密着した活動は、交通死亡事故抑止の大きな役割を担っているものであります。引き続き悲惨な交通事故による被害者を一人でも減少させ「安全で安心できる交通社会」を確立するため、交通安全に対するご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全協会連合会並びに各地区交通安全協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

年間スローガン入り ポスターデザイン募集

応募要領

- 作品には必ず**最優秀作受賞スローガン**を原文のまま入れる。
- 車内の人物にはシートベルトを着用、自転車に乗った幼児・児童にはヘルメットを着用させたデザインとする。
- 一般部門（運転者向け、歩行者・自転車利用者向け）は一般のほか小・中学生も可。子ども部門は小・中学生に限る。
- 一般部門の作品サイズはB2判タテ型。子ども部門は四ッ切り画用紙かB3判でタテヨコ型自由。

応募方法 部門、住所、氏名、生年月日、職業、電話番号を明記（小中学生は学校名、所在地、電話番号、学年を併記）した応募票（自作可）を作品の裏面に貼付の上

〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
毎日新聞社事業本部

「交通安全ポスター」係
(電話 03-3212-0190) へ送付

締切日 平成24年1月31日（必着）

平成24年使用 交通安全年間スローガン

運転者（同乗者を含む）に対するもの

最優秀作 車にも 乗せようマナーと 思いやり

優秀作 慣れた道 思わぬ危険が かくれんぼ 大阪府 市来 吉信

優秀作 醒めたはず その思い込みに 魔が潜む 滋賀県 南 英市

優秀作 歩行者・自転車利用者に対するもの 山口県 藤本 幸男

最優秀作 自転車も 安全速度と 気配りを

優秀作 ヘッドホン 危険の合図 聞き逃す 高知県 田村 和夫

優秀作 ありがとう 孫から教わる 交通ルール 静岡県 澤本 踊子

子ども部門 高知県 田岡千都子

最優秀作

いそいそでも かならずかくにん みぎひだり 静岡県 鳥居 桜子

優秀作 あぶないよ けいたいでんわと ならめっこ 静岡県 鈴木 朔瑠

優秀作 つうがくろ なれたみちでも 気をつけて 岐阜県 三輪 朋之

優秀作 「分かっている」 だったらやめよう 二人乗り 東京都 東内 郁美

各地の交通安全活動ニュース



一宮 国道128号玉前神社前交差点で安全運転を呼びかける。



鎌ヶ谷 幹線道路で飲酒運転根絶の広報啓発活動を行う。



千葉西 J R稲毛海岸駅前周辺で自転車の安全利用を訴える。



勝浦 「いんべやあフェスタ勝浦」会場で交通誘導に従事する。



松戸 松戸駅西口入口交差点で夜間の街頭啓発活動を行う。



千葉南 J R誉田駅前前で冬の安全運動に伴う街頭啓発を行う。

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会費は、地元の交通安全協会の交通安全ボランティア活動に活用されています。

発行 財団法人千葉県交通安全協会連合会

ホームページアドレス
<http://www.chiba-ankyo.or.jp>

千葉市美浜区浜田2丁目1番
千葉県警察本部交通部運転免許本部内
電話 043-271-8481

交通ルールを守って
つながる笑顔

